



※ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、和気町が独自に実施しているものです。

保育園・幼稚園へ ALTを派遣 ペッパーを配置

和気町内にあるすべての園をALT（外国語指導助手）が週1回訪問し、園児が英語に親しむ活動を行っています（2016年度より実施）。2017年度からは全ての園に英語が話せる人型ロボット「ペッパー」を配置し、英語の歌などを通じて英語のコミュニケーションを図る活動も行います。



ハナ町でのホームステイの様子

海外ホームステイ

国際的な広い視野を持った若者を育成するため、町内の中学生を対象に和気町の友好都市、カナダ・アルバータ州ハナ町のホームステイを行っています。夏休みを使ってたっぷり英語圏の文化を吸収することで、グローバルな視野を養うことができます。



留学生を受け入れ、和気開谷高校への授業参加などで交流を深めています

また、ハナ町の学生も日本文化を体験するため和気町の家庭でホームステイを行います。留学生が和気開谷高校の授業に参加することは同校の生徒たちにもよい刺激となっています。



小・中学校で独自のALT授業を実施しています

地域
世界
教育
の
ま
ち
。
を
思
考
す
る
目
線
で



「Hello」

英語特区の導入

よりグローバルな人材を地域で育てるため、和気町では、文部科学省より、2016年12月に町内の全ての小・中学校に対し、独自カリキュラムを導入できる特例校指定を受けました。自治体内の全ての小・中学校で特例校指定を受けるのは県内市町村では和気町が初めて。

これを受けて和気町では「英語特区」として、学習指導要領の枠を超えて、子どもたちが4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく身に着けるための英語教育を行います。

具体的には、各小・中学校への外国語指導助手（ALT）の配置、小・中学校では英語活動の範囲を全学年に拡大、中学校では英語のみでコミュニケーションを図る授業を導入します。また、ベネッセから提供されるスコア型テスト「GTEC for STUDENTS」を継続的に受験し、日々の英語学習に役立てます。

MESSAGE



英語が好きなのも苦手なのも楽しめる授業を考え、担任の先生たちと一緒に盛り上げています。英語の能力だけでなく、授業に対して日に日に積極的になっていく子どもたちの成長を見ることが楽しみです。
ALT Gareth Barkerさん（ガレス・バーカー）



イングリッシュキャンプ（英語で話そう）

イングリッシュキャンプ

町内の小学4年から中学生が対象で、留学生等と一緒にキャンプをして楽しく英語を学んでもらおうと、毎年行われています。1泊2日の日程で、英語を交えて外国人に和気町を紹介したり、外国のお菓子を食べながら各国の文化を学んだりします。イベントの計画・実施には和気開谷高校の生徒等も参加して、小・中学生に楽しみながら英語に親しんでもらえるよう工夫を凝らしています。

TOPICS

日本遺産 旧閑谷学校と県立和気開谷高校



日本遺産 旧閑谷学校



県立和気開谷学校

県立和気開谷高校は1670年に岡山藩主池田光政によって設立された日本最古の庶民のための学校「閑谷学校」をルーツとする由緒ある高校です。生徒会が中心となったボランティア活動が盛んで、2011年にはユネスコスクールに認定、ESD（持続可能な開発のための教育）の先進的な取り組みとして日本では唯一県立和気開谷高校のみが紹介されました。

しっかりと学び しっかりと遊ぶ 和気町の流儀

無料公営塾

町内の小・中学生(小学校5年生から中学校3年生まで)を対象に、毎週水・土曜日に無料で英語の学習ができる公営塾を開講しています。



無料公営塾では学校とは違った雰囲気英語が学べます

地域おこし協力隊や地元の大学生が主体となつて、英検対策指導や外国人との英会話体験の授業などを行っています。ゲームの要素も取り入れて、楽しみながら英語に接することができるように努めています。毎月第4土曜日には、幼稚園・保育園児から小学校4年生までを対象とした「公営塾キッズ」も開講。「幼稚園・保育園児」「小学生1年生」「4年生」の2クラスに分けて授業をしています。

MESSAGE



田舎で暮らしながら、子どもの可能性をグローバルに広げられる環境が和気町にはあります。英語を学ぶこと自体をゴールとせず、英語を通じて地域や社会に貢献してほしいと考えています。

公営塾スタッフ
地域おこし協力隊
中村 和馬さん

2016年
東京都から
移住

無料公営塾

場所: JR和気駅前の交流施設「エンターワケ」

時間: 毎週水曜日 (小学生) 17:00~17:50

(中学生) 18:30~20:50

毎週土曜日 (小学生) 13:00~13:50

(中学生) 14:00~16:20

講師: 県内の大学生や外国人留学生、
地域おこし協力隊

わかりやすく、通いやすい場所、JR和気駅を出てすぐのところに「エンターワケ」があります。



地元の大学生や地域おこし協力隊の協力で運営されています

オンライン英会話

近年増え続けている外国人観光客を町全体でおもてなしするため、外国人講師から1レッスン25分(予約制)の個別指導が受けられるオンライン英会話講座(無料)を提供しています。受講時に、和気町役場のサポートスタッフが同席しますので、英会話に自信のない方でも安心して受講していただけます。

2017年1月からは受講対象を町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校に通う児童などにも拡大。(児童などの場合は月4回以上の参加ができる方)

通常は役場の会議室や無料公営塾で行う講座ですが、自宅にインターネット電話・スカイプを利用できる環境があれば、自宅での受講も可能です。

英検合格者へ

図書カード贈呈

日本英語検定協会(東京)の実用英語技能検定及び英検Jに合格した町内の小・中学生を対象として、合格級の難易度に応じて図書カードを贈呈しています。

例えば中学生の場合、英検標準合格級(中学1年)・5級(中学2年)・4級(中学3年)・3級の合格者に2500円分、1ランク上の場合は5千円分、2ランク上の場合は1万円分の図書カードが贈呈されます。年度内に複数の級に合格した場合、それぞれの級に応じた図書カードが贈呈されます。

水辺の楽校

和気町役場の正面にある金剛川で、毎年7月下旬の休日に「魚つかみ大会」や「竹細工遊び」「いかだ渡り」などを行っています。川やその周りの自然に思い思いに親しむ多くの子どもや大人で賑わう和気町恒例の行事となっています。



いかだ渡り

和気町子ども塾

地域に根ざした独自の教育活動(ふるさと学習)を行う「ふるさと教員」が、学校と地域・家庭とを結びながら、地域ぐるみで子どもを育てるための活動を行っています。具体的には、地域素材を使った学習プログラム、体験学習の企画などです。



自然満喫体験

和気で育つ「和気育」

WAKE J TURN U

その他おすすめスポット

和気鵜飼谷温泉



鵜飼谷は元々は鮎漁に使う鵜を飼育していた場所で、この谷から出る水が、鵜の怪我や病気をたどころに治すだけでなく、老若男女の健康水としても重宝されていたと伝えられています。湯量は日量150トン、PH9.5のアルカリ性単純温泉で、岡山県内では珍しく40度の高温です。イオン分を含んだ泉質は、美容にも良く、特に神経痛・関節痛・筋肉痛などに良いとされています。

放課後学習支援

小・中学校に学習支援員を配置し、放課後等に補充的な学習指導を行っています。学習支援員は、町民や高校生ボランティアが行っています。ベネッセのノウハウに従って、子ども達が自学自習できる算数・数学の教材の開発も行っています。英語に限らず、しっかりと学力を身に付けて、将来社会で活躍できるよう、地域ぐるみで子ども達を応援しています。



放課後学習支援の様子



その他おすすめスポット

和気鵜飼谷交通公園



国道374号線から見える、白く丸い屋根が印象的な「和気ドーム」は、和気鵜飼谷交通公園の中心にあるシンボル施設です。公園内にはゴーカート、電動カート、ミニSLなどがあり、遊びながら楽しく交通マナーが学べます。公園で思いっきり遊んだあとは、道路向かいにある和気鵜飼谷温泉で疲れを癒すこともできます。

和気の豊かな自然と充実の教育環境。
子育て世代が安心して暮らせる町です。

当時4歳の長男と1歳の次男、私の3人で和気へ移住したのは2013年のことでした。子育て世代の先輩移住者が多く、そこで暮らす自分の姿が想像できたことも、和気への移住の一つの決め手でした。美しい川や森が残る和気は、子供たちを外で安心して遊ばせることができる場所。のびのびと過ごす姿を見ると、ここにきてよかったと思います。

学校給食の地産地消率の高さは岡山県内でも屈指で、季節を感じられる地元の食材がでるのもいいと思います。

また最近では、和気町の教育支援の一環で、外国人の先生が幼稚園や小学校で英語を教えてくれるように。勉強として認識する前から英語に触れられるのは、子供たちにとって貴重な体験。地方だから、都会だからと、場所に関係なく学べる環境があるのはとてもありがたい。自然豊かな環境、地産地消率の高い給食、地域格差なく学べる教育環境。それらがそろって和気で、力強く成長してほしいです。



子育て世代を
みんなでも
いつでも相談

高校卒業まで医療費無料

和気町では子どもが高校を卒業するまで、医療費の自己負担分を全額助成（保険適用外経費等は除く）しています。

幼稚園使用料無料

子育て世代の経済的負担を軽減するため、2016年4月から、町内の幼稚園使用料と預かり保育料を無料化、また保育所保育料を現行の基準額から最大6200円減免する制度を制定しました。

そのほか和気町の子育て支援 ○子育て支援センター

子育てに対し日々不安を抱えている親が気軽に頼れる場所として、0歳児から小学校就学前の親子が無料で利用できる交流施設です。保健師による子育て相談や、地域ボランティアによる絵本読み聞かせ、お楽しみ会などの親子行事を開催しています。

○クラウドソーシングの提案

インターネットを活用し、時間と場所を選ばない働き方として注目されている「クラウドソーシング」を活用した新しい仕事の創出を始めます。子育て世代でもっと柔軟に働きたいと考えている方や、農業等の閑散期に収入を得たい方などに新しい働き方を提案します。

○電動自転車を無料レンタル

満1歳以上満6歳未満の幼児を2人以上養育している家庭に対して、幼児2人同乗電動自転車を1年間無料でレンタルします。

○ママほっとサロン

あかちゃんの成長とママの子育てを応援する任意団体です。ママがほっとできる雰囲気の中で子どもの育ちを軸にあかちゃんひろばや外遊びのわんぱくを開催しています。人と人が繋がり、大人の温かな眼差しの中で子どもが伸び伸びと育つことを大切にしています。



こだわりの学校給食で
毎日子どもたち
元気いっぱい

地産地消率
60%超



和気町では保育園、幼稚園、小学校、中学校で給食を導入しています。県内トップクラスの地産地消率を誇る新鮮でおいしい和気町の給食は子どもたちに大人気です。牛肉・米等は岡山産（米については和気町産）、だしは瀬戸内いりこなどを使い、天然のだしにこだわります。また、地元産の素材を使った郷土料理メニューのふろさと給食や、災害時の給食メニュー体験などもあり、各調理場の栄養士さんたちが工夫してメニューを考案しています。

安心・安全でおいしい食生活につながる給食を、和気町が丸となって提供いたします。

2013年
埼玉県から
移住

田中さんファミリー

尾道で保養、徳島や岡山などでシェアハウスや民家に滞在したのち、和気の魅力にひかれ移住を決意。現在は夫も合流し、家族4人での和気ライフを過ごしている。

空き家情報バンク

空き家の購入・賃借を希望の方が物件をスムーズに探せるように、町内に空き家をお持ちの方が登録した物件情報を提供します。

登録された物件はWAKESUMサイトで紹介しています。



◆地方創生課
Tel 0869-92-4589

WAKESUMで空き家情報を掲載しています。

空き家改修補助金

和気町への移住促進及び空き家の有効活用を目的として、町内の空き家を改修して移住を希望する方を対象に、その費用の一部を補助する制度です。

◆地方創生課 Tel 0869-92-4589

補助金額

改修費の1/2
※補助金の上限額50万円 ※予算の範囲内で交付します

補助対象改修費

- ①台所、浴室、トイレ、洗面所等の改修
- ②内装、屋根、外壁等の改修
- ③その他適当と認められる改修工事

※原則として施工業者は、和気町内に事業所を有する法人および個人事業者に限ります。

補助対象者等についてはWAKESUMをご覧ください。

通勤・通学補助金

若い世代を支えるためJR和気駅を起点とする通勤・通学定期券実質購入費用(手当等を除く)の1/2(最大月額7,500円)を補助します。

◆総務課 Tel 0869-93-1122

補助対象者等についてはWAKESUMをご覧ください。

固定資産税の優遇制度

40歳未満の若者および子育て世代(中学校卒業までの子どもを扶養)が町内で新しく住宅を取得した場合、新築または購入した家屋の、新築後5年間、120㎡分の固定資産税(家屋分)を免除もしくは軽減します。

◆税務課 Tel 0869-93-1124

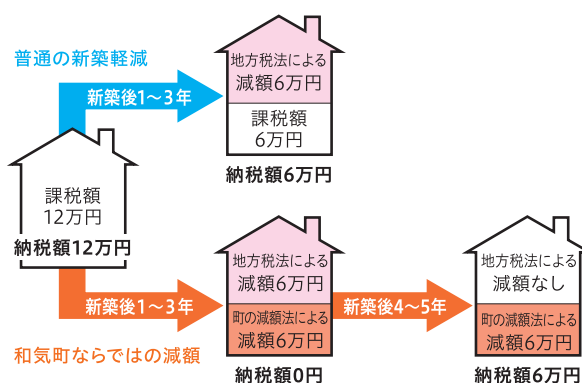
減額の対象となる住宅

平成27年1月2日から平成32年1月1日までに新築または購入(相続・贈与を含まない)された居住用家屋(アパート・賃貸を除く)。

減額の内容

120㎡を限度として、5年間、家屋分の固定資産税を半額軽減します。

〈例〉木造2階建てで床面積が120㎡の専用住宅の場合(本来の税額が12万円と仮定)



減額条件等の詳細についてはWAKESUMをご覧ください。

結婚新生活支援事業費補助金

和気町で新生活をスタートする新婚世帯を支援するために、引越し費用等について24万円を上限額に補助します。

◆まち経営課 Tel 0869-93-1123

対象となる経費

- 新規の住宅賃貸費用(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料等)
- 結婚に伴う引越し費用(引越業者へ支払った費用)

補助対象者等についてはWAKESUMをご覧ください。

短期滞在費補助金

岡山県外から町内への移住を目的に、住居や仕事を探す活動等を行われる方に、宿泊費の一部を補助します。

◆地方創生課 Tel 0869-92-4589

補助金額

- ①宿泊料の3分の2以内。1泊あたり1人4,000円が上限。
 - ②1人あたり1回2泊を上限とします。
- 補助金の利用は1人あたり5回(最大で合計10泊)を限度とします。

対象となる宿泊施設



和気鶴飼谷温泉
Tel 0869-92-9001
和気町益原666-1



杉金旅館
Tel 0869-92-0024
和気町福富609



ビジネス旅館竹園
Tel 0869-92-0021
和気町福富607



たちばな旅館
Tel 0869-93-0233
和気町尺所31-4

補助対象者の条件、対象となる活動等についてはWAKESUMをご覧ください。

お試し住宅

岡山県外から町内への移住をご検討中の方に、和気町での暮らしを体験したり仕事や家探し等ができるように、家具や家電製品等をそろえた住宅をご用意しました。滞在中は移住推進員等が移住のサポートをします。

◆地方創生課 Tel 0869-92-4589



岩戸お試し住宅



尺所お試し住宅



福富お試し住宅



長期間の滞在中でじっくり移住の準備ができました。

お試し住宅を利用し移住を決めた鶴見さん

利用できる期間・貸付料のお支払い

原則として14日間以上2か月以内。ただし、特別な理由がある場合は、2か月以内で延長することができます(最長で計4か月)。

貸付料は、月額3万円(電気代・水道料金等の光熱水費含む)です。ただし、日単位で利用する場合には日割り計算により決定します。貸付料は、入居当日お支払いいただきます。なお、入金後、途中退去等による払い戻しはいたしませんので、ご了承ください。

利用できる条件等についてはWAKESUMをご覧ください。

移住関連制度
支援が開始
検討段階から

車の貸出

岡山県外から町内へ移住を希望する方や移住して1か月以内の方の仕事探しなどに自動車の貸出をします。

◆総務課 Tel 0869-93-1122



和気町移住定住サイト
WAKESUM「ワケスム」

※このパンフレットの情報は平成29年4月現在のものです。
最新情報は和気町移住サイト「WAKESUM」でご確認ください。



移住推進員
いまい ますこと
飯豊 信さん

気になったら
移住推進員に
聞けばいい！
私も移住者だから
その悩みわかります！

和気町役場には移住推進員が常駐。住居、仕事、生活、習慣、子育て・教育、就農、起業ほか、移住に関するワンストップ相談窓口として、移住検討中の方を多面的にサポートしています。

私は約40年暮らした東京都から2012年に和気町に移住。現在は妻と3歳の息子と両親の3世代で生活しています。都市での生活、地方での暮らし、移住の苦労を知る立場から、移住者の視点に立って相談に乗り、町の魅力を解説しています。

移住地を決める事は、人生の大切な選択の瞬間。移住の成功には、「百聞は一見にしかず」の精神で、現地へ赴き自分で確認すること。長期滞在が短期で繰り返し訪問して、プラス面もマイナス面も知った上で、比較検討して決めること。これが大切だとアドバイスしています。ぜひ和気町に足を運んでください。



東京からの移住者で和気町定住促進アドバイザーの吉永由加里さん(写真左)も移住相談に乘りますよ！

あなたの相談内容に応じてガイドします！ 和気町内ご案内

車で

- 1 JR和気駅までお出迎え。その日のコース内容を簡単に説明します。
- 2 買い物スポットや公民館など、和気の生活エリアを見学します。
- 3 空き家バンクで探した古民家などを内見します。
- 4 時には地元の人との触れ合いも。交流する機会を促してくれます。
- 5 この日は地元農家を訪問。仕事内容や仕事場を見学します。
- 6 先輩移住者にリアルな体験談や暮らしぶりを伺います。
- 7 どういう環境に学校や遊び場があるのか、現場を視察します。

希望日の1週間前までに電話で申し込んでください



■ お問い合わせは
地方創生課
TEL 0869-92-4589



和気町の移住定住促進サイト「WAKESUM」もチェック！
<http://www.town.wake.okayama.jp/wakesum/>
移住・定住に関する最新情報やイベント情報をチェックできます。



STEP.1

起業相談

◆ 創業塾

「これまでの経験を活かして開業したい」「自分のアイデアを形にして起業したい」などの夢を実現したい方に対して、事業を始める前に用意しておくことや身に付けておくべき経営知識について学ぶことのできる「創業塾」を開催しています。

◆産業振興課 TEL 0869-93-1126



詳しくは
WAKESUMをご覧ください。

起業する準備段階から相談できる
経営のノウハウから準備費用の補助まで
起業するまでの様々なシーンで起業・開業を
考えている方をサポートします。また、「エン
ターワケキッチン」では実際に飲食店営業の
コミュニケーションができるので、しっかりと
した開業準備ができます。

STEP.2

起業準備

◆ エンターワケキッチン

JR和気駅にある「エンターワケキッチン」では、飲食店の起業を支援するためのお試し施設として、日替わりで店舗が入れ替わる形の運営を行っています。本格的な出店前のプレ店舗として活用することができるので人気です。

◆和気商工会 TEL 0869-93-0522



詳しくは
WAKESUMをご覧ください。



JR和気駅前「エンターワケキッチン」



和気商工会 いでい ひろき
出射 弘貴さん

起業のことなら
なんでも
ご相談
ください

STEP.3

起業・開業

◆ 起業支援補助金制度

町内で起業する者に対して起業に必要な経費の一部(補助率1/2、補助金上限額50万円。ただし、県外からの移住者による起業の場合は補助金上限額100万円)を補助します。

◆地方創生課 TEL 0869-92-4589



制度を利用して美容室開業！

補助対象経費

①店舗等借入費 ②外装・内装工事費 ③備品購入費(5万円以上50万円以内) ④広報費マーケティング調査費 ⑤商業登記費 等



交付対象者等については
WAKESUMをご覧ください。

自由に創意工夫できるのが農業の醍醐味。
就農者へのサポートも充実しています。

自給自足の生活への憧れもあり、漠然と「いつかは農業をしたい」と思っていました。震災を機に、「一生、自分たちが続けていける仕事は何だろう」と考え始めるようになった頃、東京で開催された就農相談会に参加してみたいです。親身に相談にのってくれた岡山県の職員さんや、ナスの産地化に熱意を燃やす和気町夏秋ナス部会の会長さんなど、多くの人との出会いに縁を感じ、この地への移住を決めました。和気町の就農をサポートする制度の充実ぶりにも背中を押されましたね。

現在は、夏秋ナスとホウレンソウを栽培しています。もともと「モノをつくること」は好きで農業も楽しいけれど、自然が相手だから、気候によって収穫量は大きく変わります。それでも、会社員だった時と違って、自分なりの創意工夫を自由に実践できる、農業の醍醐味を味わっています。



就農支援者 内山さん

鈴木さんはコツコツ頑張るタイプで、農業経営についてなど教え甲斐はありましたが、慎重すぎるころがあったので、まずは挑戦してみることを勧めました。



鈴木さんファミリー

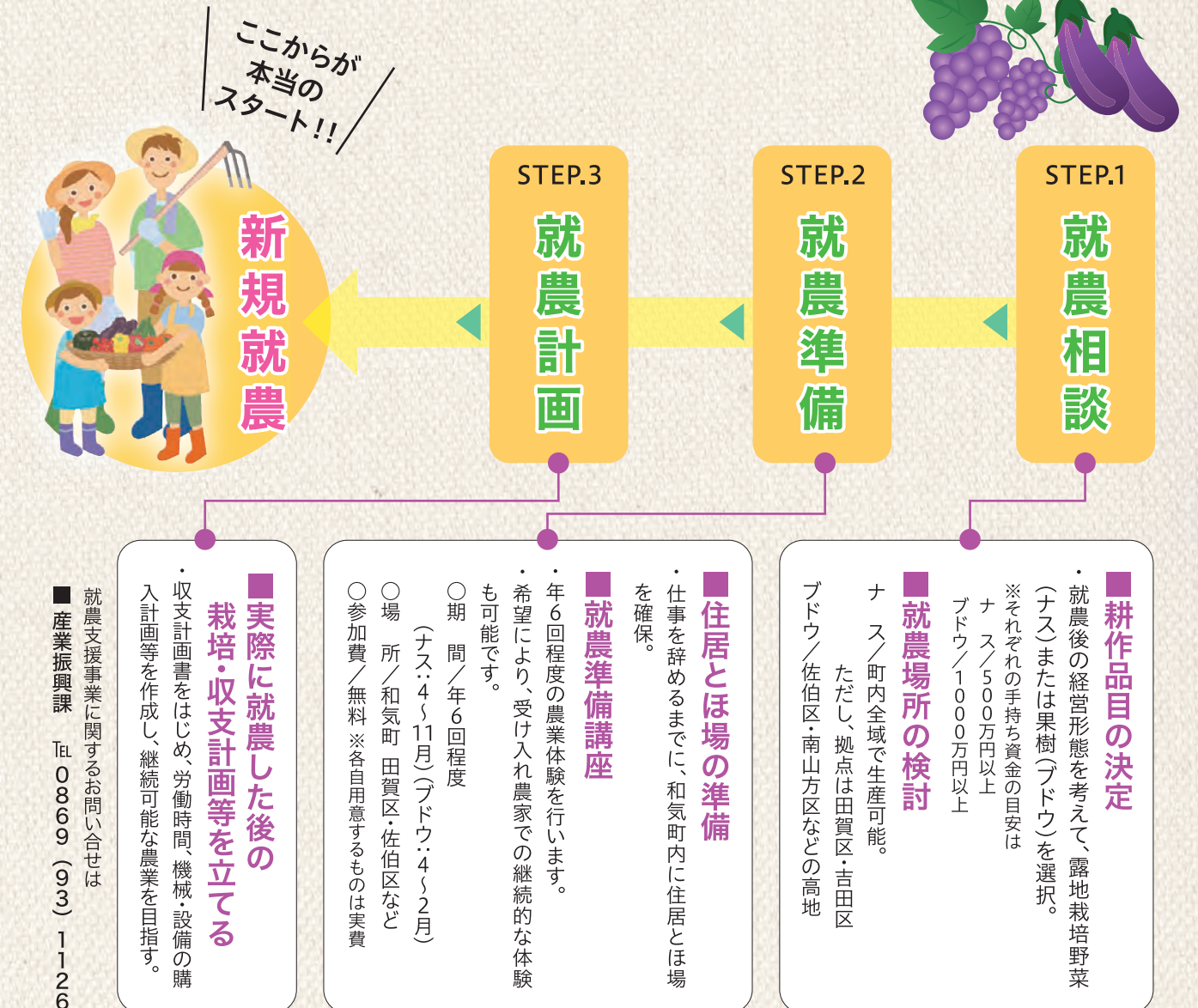
出版や機械作りの仕事を経て、農家に転身。自家栽培のホウレンソウなどを用い、お菓子作りにもチャレンジする妻と、今年中学生になる長女との3人暮らし。

2012年
東京都から
移住

農業・就農者補助事業一覧

事業名	内容	補助率等
支柱助成 (夏秋ナス・ブドウ)	500㎡以上の作付けで 支柱資材に対する補助	補助率1/2 (上限100万円)
ハウス助成(ブドウ等)	ハウス資材に対する補助	補助率1/2 (上限100万円)
新規就農者家賃補助	新規就農者に対する家賃の一部を補助	月3万円×12ヶ月
産地づくり助成金	ナス:5a以上 ネギ:3a以上	2万円/10a (ナス・ネギ類)
就業奨励金 (40歳未満)	新規就農者に対し奨励金を交付	5万円
農業次世代人材投資事業 (45歳未満)	人農地プランで担い手に 位置づけられていること	定額150万円 (夫婦(家族経営 協定)225万円)

※この他にも補助制度に該当する場合があるので、産業振興課までお問い合わせください。



新規就農者支援の詳細についてはWAKESUMをご覧ください。



WAKAIKU LIFE



イメージムービー

まちと里山と川と人。少なすぎず、多すぎず。なんだかちょうどいい感じの生活なのです。